



光陰矢の如しと申しますが、いつの間にか今年も残り少なくなりました。保護者の皆さまにおかれましては、ご健勝のことと存じます。また、日頃は、本校教育にご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

先日は、寒い中、個人懇談にお越しくださりありがとうございました。2学期の学校生活についてや、家庭での過ごし方、また冬休みのことなど、お子様のことについて、話し合いができたのではないのでしょうか。これからもご家庭と協力しながらお子様の成長の一端を担えたらと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

学校ではさまざまな行事が2学期にありました。今学期に頑張ったこと、思い出に残ったことがたくさんあったことと思います。本日、通知表をお渡ししましたが、担任が書き切れないことがたくさんあります。褒めてもらったこと、反対に注意されたことをしっかりと心に留め、冬休みや3学期を有意義に過ごして欲しいと思います。また、本校では挨拶運動を続けています。これは心を育てる一つのアイテムです。自他を大切にし、人と人のつながりを大事にしています。今後も、相手を意識し、しっかり考え・行動する態度を育てていきたいです。

児童には、終業式で校長からの冬休みの宿題を伝えました。一つは、「おうちのお手伝いをする」です。年末の大掃除など分担をしていただき、家族の一員として仕事を果たせるようお願いいたします。また、頑張った時には、褒めてあげていただけると子供たちも励みになります。二つ目は、「安全に過ごす」です。交通安全など、自分の身を守ることをしてください。そして、年末・年始は、不規則な生活になりがちですが、ゲームやテレビなどルールを決めて、規則正しい生活を心がけることも大切です。規則正しい生活は、3学期のスタートがスムーズにきれるためには必要です。

年末・年始は、家族でたくさん話をしたり、一緒に楽しんだりできる時間だろうと思います。この1年頑張ったことや、これからの目標などをお話しし合って、有意義な冬休みにしていただけたらと思います。

挨拶運動 あいさつキラリンカードをもらおう

児童会のみなさんが、挨拶運動の計画を立ててくれました。


今回は、”あいさつ”がクリアできると、あいさつキラリンカードをもらえます。たくさんカードをクラスで集めて、挨拶の仲間を増やしていこうと、児童会のみなさんが考えてくれました。

あ あいてのめをみて

い いいこえで

さ さきに

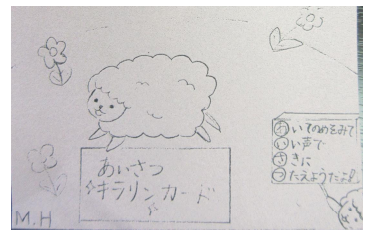
つ つたえよう



こくフクロウ

登校してきた児童は、しっかりお約束したことを守って、元気な声で挨拶をしていました。気持ちのよい挨拶を聞くと、元気になります。自然と笑顔になります。相手に対して、気持ちを示すものであり、人間関係を円滑にする手がかりにもなります。

6年生の児童に、「国府小学校の自慢できる場所は何ですか。」と聞くと、半数ぐらいが、「挨拶がで



きるところです。」と答えます。子供たちが、挨拶を意識していることがとてもうれしく思いました。これからも、笑顔いっぱいの、元気な国府小学校になるように、声かけをしていきます。

楽焼きの色塗りをしました

12月15日に楽焼きの色塗りと焼成をしました。2年生は動物、4年生は鈴です。土粘土をこねて、形作りをしてあったものを、図工室で乾燥させていました。そして、この日、色塗りで。素焼きしてもらった作品に、思い思いの色を塗り込んでいきます。寒い中、根気強く頑張っていました。色が塗れて、また釜に入れて焼成してもらおうと、つやも出てきます。できあがりを見た時子供たちは、歓声を上げていました。(6年生はろくろで湯飲みかお茶碗を作ったようです。できあがり、卒業間近とのことです。)



人形浄瑠璃出前授業

3年生が、地域伝統の学習をしています。先日、人形浄瑠璃「コスモス座」の皆様、学校に来ていただき、人形の動かし方やからくりについて、たくさん教えていただきました。

国府に、天狗久などのかしら作りが発展していたので、それをみなさんに広めていきたい。伝統を受け継いでいきたいという思いで頑張っているそうです。そして、子供たちにも、素晴らしい伝統があることを知って、興味を持ってもらいたいという願いがあるそうです。

子供たちは、実物を触らせてもらい、実際に操作させてもらいました。「こんなからくりができるのすごいよな。」「人形は重いな。」「3人が協力しないと動かせないな。」等、それぞれの子供の心が動く時間でした。コスモス座の皆様、ありがとうございました。



らよっと一言

うん十年前、私が小学生の時、長期休業中の宿題にお手伝いがありました。週末の宿題にもお手伝いがありました。私の主なお手伝いは、お風呂掃除と廊下の雑巾がけでした。嫌々していたこともありましたが、そんなとき、「いつもありがとう。お陰で気持ちよくお風呂に入れる」と。そんな声に、家族のために自分が役に立っているんだと実感し嬉しくなりました。

もう一つ、忘れない言葉があります。「働くって、動くに似ているけど、人のために動くって読んでもいいんじゃない。だから、あなたのお手伝いには感謝しているよ。」当時の私は、働くことの意味や大切さを分かりませんでした。頑張ってたんだと思いました。

子供も誰かの役に立ちたいという思いは常に抱いています。だからこそ、家族の一員である子供たちに、お手伝いを通して家庭生活への積極的な参画者になって欲しい願いと期待を、そして家族のために働いてくれたことへの感謝の思いを伝えてはどうでしょうか。きっと、子供たちは、人のために働くことのよさを実感できると思います。子供たちの有用感も高まってくるでしょう。子供たちを頼りにしてもよいのではないのでしょうか。子供たちは、きっと応えてくれると信じています。

